

障がい児教育 実技 研修会 終了報告

テーマ	「WISC-IVの活用について」	
日時	平成30年7月30日(月)13:00～16:00	
会場	石狩教育研修センター 2F 研修室 A・B	
講師	<p style="text-align: center;">田野 大介 氏</p> <p style="text-align: center;">(肩書:)北海道立特別支援教育センター 自閉症・情緒障害教育室長</p>	
参加者	約 73 名	
研修会 の 様子		<p>WISCの検査について講演していただきました。前半は基礎編としてWISCの特徴、検査内容、検査結果の処理方法、指標得点の特徴とそれぞれの支援のポイントを説明して頂き、後半は、応用編として検査結果の解釈の仕方、考えられる手立て、主訴からの検査結果から支援の仕方を解説して頂きました。</p>
		<p>基礎編では、アセスメントとはどういったものなのかをおさえ、他の知能テストとの違い、特徴からWISC-IV知能検査とは、どういったものか説明して頂きました。その後、実際の問題用紙を手に取りながら下位検査の具体的な実施内容を一つ一つ確認していきました。</p>
		<p>その後、検査結果の処理方法を実際の用紙に書き込みながら確認していきました。評価点、合成得点の意味、パーセンタイル順位、ディスクレパンシー比較、差の有意性の判定について説明して頂きました。さらに、それぞれの指標得点から困難が予想されること、具体的な支援例を確認しました。</p>
		<p>応用編では、検査結果の解釈方法、活用について説明頂きました。主訴を知り、視点を持って検査することの大切さ、所見は、宣告書ではなく提案書であることを説明して頂きました。</p>
		<p>最後に実際の事例をもとに、話し合いを行い、参加者それぞれの解釈をグループで交流しました。その後、講師の方から、支援の一例を説明していただくという実践的な内容となりました。解釈だけにとどまらず、具体的な支援の手立てを考え、PDCAサイクルを回していくことが大切であることを学習しました。</p>